



### お申込みから実施までの流れ

本校ホームページでも御覧いただけます

- ①お申込み**
  - ①本校にお電話ください。【附小TEL】095-819-2271
  - ②下の申込書で市町教委を通じて提出ください。
- ②事前打合せ**
  - ①本校教頭が御担当者の方と事前打合せを実施。
  - ②日時等の確認。
  - ③御要望等の確認。
- ③出前研修**
  - ①本校教諭が学校等に出向き、出張授業や実践紹介等を行います。
  - ②御感想等の聞き取り。

# 附属の研修

## いろいろなかたち



### 長崎大学教育学部 教育支援事業 申込書 申込みFax.095-819-2292

申込期日	令和 年 月 日 ( )
教育委員会又は関係団体名及び担当者連絡先	教育委員会又は関係団体名: 担当者: 〒住所: Tel. : Fax. :
希望時期	令和 年 月 日 ( ) 令和 年 月頃(お申込み後に日程調整)
教育支援内容	(支援を依頼される機関・学校、担当の先生の名前・連絡先も必ず記入してください。)
要望事項等	

- 注意事項
- ①お申込みは教育委員会及び関係団体(協会、研究会等)を通じてお願い致します。学校個別・個人でのお申込みは受け付けておりません。
  - ②この事業は長崎大学教育学部(附属学校園含む)教員が、社会教育に関連した出前授業・講演・指導助言や教育相談の支援活動を、行政や関係機関との連携に重点を置きながら行うものです。謝金は発生しません。長崎大学教育学部の予算で運営しております。(派遣教員の交通費のみ)
  - ③可能な限り対応させていただきますが、お申込みをいただいても必ず支援が可能なわけではございませんので、どうぞご了承願います。
  - ④お申込みを受け次第、派遣教員を調整し、支援の有無について、申込のあった教育委員会及び関係団体を通じて「回答書」を送付致します。回答までは1週間程お待ち下さい。諸事情により回答までの時間を要する場合は、その旨ご連絡致します。
  - ⑤支援決定後は、回答書に記載の派遣教員へ直接連絡をとり、詳細について話を進められて下さい。

【連絡先 及び 申込みFax.】(事務室:月~金 9:00-16:00 Fax.は24時間OKです)  
〒852-8521 長崎市文教町1番14号 長崎大学教育学部 教育実践総合研究棟事務室  
事務室 Tel.095-819-2291 Fax.095-819-2292

受付番号: \_\_\_\_\_  
※事務室で記載



### お申込みから実施までの流れ

- ①お申込み**
  - ①本校にお電話ください。【附小TEL】095-819-2271
  - ②研修までの概要を御説明いたします。
- ②事前打合せ**
  - ①本校教頭が御担当者の方と事前打合せを実施。
  - ②日時等の確認。
  - ③御要望等の確認。
- ③游学研修**
  - ①御希望の学年で授業や学級経営等を参加観察していただきます。
  - ②御感想等の聞き取り。



長崎大学教育学部は、文部科学省の「地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業」に令和6年度に採択され、教師になる夢をもった子どもたちを後押しし、教師として地域に返していく取組を強化しています。



## 御案内

附属小学校は、教員養成・先進的な教育研究・地域貢献に取り組むという設立来の原点がございます。その中の一つ「地域貢献」の具体的な取組内容として「出前研修」と「遊学研修」があります。どちらも費用はかかりません。子どもたちの夢・憧れ・志の実現に向けて、活用してみませんか。

## 出前研修

市町の学校や教育研究部会の御要望を伺って出向く研修スタイルです。

## 遊学研修

本校においでいただき、希望の学年や教科等、学級経営などについて参加観察・協議等をしていただく研修スタイルです。

	ケース1 複式	ケース2 公務DX	ケース3 道徳
<b>出前研修</b>			
<b>だれが</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小規模学校からの依頼</li> <li>●複式学級を有する近隣学校の先生方も参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市町の教育研究会からの依頼</li> <li>●へき地・小規模校の先生が参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校からの依頼</li> <li>●近隣の学校からも一部参加</li> </ul>
<b>何を</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●算数による提案授業</li> <li>●3・4年生で実施</li> <li>●3年生は「長い長さをはかって表そう」</li> <li>●4年生は「角の大きさの表し方を調べよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ICT活用、DX化についての講義</li> <li>●DX化の実践事例の紹介</li> <li>●当該地域におけるDX化の提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●道徳の講義・演習</li> <li>●道徳の実践事例紹介</li> <li>●附属教員による提案授業の実施</li> </ul>
<b>どのように</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●附属小とリモートでつなぎ、予想や結果の比較を行い、互いの意欲を喚起</li> <li>●授業提案後に参加された先生方と研究協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子ども主体のICT活用を考える</li> <li>●働き方改革につながる校務DX化を考える</li> <li>●テンプレートデータを配付し、各学校で実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2回ワンセット研修</li> <li>●1回目は講義・演習・実践紹介の研修(夏)</li> <li>●2回目までに各自実践</li> <li>●2回目は授業提案を行い、研究協議の実施(秋)</li> </ul>

	ケース1 6年生	ケース2 2年生	ケース3 校内研修
<b>遊学研修</b>			
<b>だれが</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校からの依頼</li> <li>●教職3年目で、現6年担任の先生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校からの依頼</li> <li>●教職1年目で、現2年担任の先生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校からの依頼</li> <li>●校内研究の一環として、全職員で参加</li> </ul>
<b>何を</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主担当学級の決定</li> <li>●希望教科の授業参観</li> <li>●各教科主任の授業参観</li> <li>●学級経営の相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主担当学級の決定</li> <li>●希望教科の授業参観</li> <li>●同学年の授業参観</li> <li>●学級経営の相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自由進度学習等個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた取組</li> </ul>
<b>どのように</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●朝遊びから放課後まで一日の指導を参加観察</li> <li>●国、社、算、理、道を5・6年生で授業参観</li> <li>●放課後の振り返り・質問タイム等</li> <li>●6月・12月の2回セット研修で変容確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●11月と2月の研究発表会参加による2回セット研修の実施</li> <li>●11月は朝遊びから放課後まで一日の指導を参加観察</li> <li>●国、算、生、道を2年生で授業参観</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●6年生3学級の授業参観</li> <li>●放課後に時間を設定し、授業への質疑応答や理論、実践事例を紹介</li> </ul>

- 各々の御要望に合わせた出前授業に努めます。
- 各学校の校内研修に合わせて授業や講義等を行います。
- 各種研修会に出向き、実践紹介や演習等を行います。
- 出前研修の費用は、一切かかりません。

- 各先生方の御要望に合わせて遊学研修を組むことができます。
- 1時間の授業参観から数日間の参加観察研修まで対応します。
- 各々の経験年数や興味関心に沿って御相談ください。
- 遊学研修に係る出張旅費は、各学校の負担です。